

ご挨拶

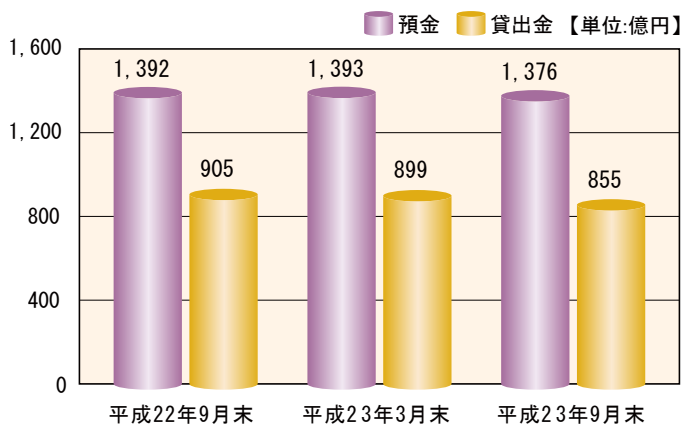
理事長 鳴海 克實

昨年3月11日に発生した日本における観測史上最大規模の東日本大震災により、未曾有の大災害となりました。この地震に加え、欧米政府の債務危機、世界経済の減速懸念や歴史的な円高による輸出産業打撃の影響は私共のお取引先である中小零細企業にも及んでおります。今年に入り、わが国の経済情勢は依然として長期化となるデフレ経済から抜けきれず、少子高齢化問題、さらには地域における中小企業の衰退、雇用の消失等問題は山積みです。この様な時にこそ、私ども信用金庫と共に手を携えて助け合い、今年こそは良い年となる

よう頑張っていこうではありませんか。

さて、当金庫の昨年9月の中間決算についてご報告致します。預金残高1,376億円、融資残高855億円、経常利益280百万円、当期純利益196百万円を計上することができました。預貸率（預金残高に対する融資残高の割合）は9月末現在で62.16%と依然都内信用金庫で2番目の高さを堅持しています。この結果9月末における自己資本比率は10.74%、中核的自己資本比率（Tier1）においても8.85%といずれも高い水準を維持しています。

預金・貸出金の推移

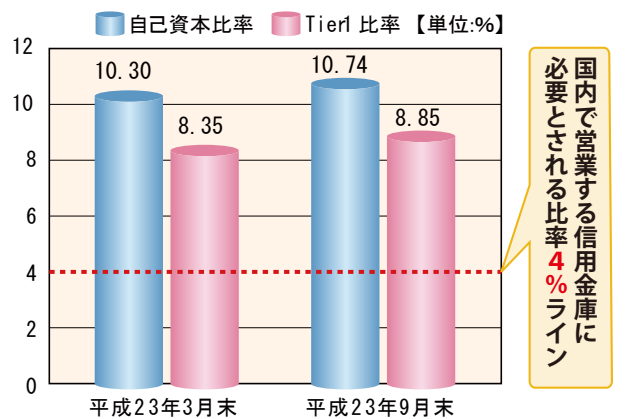


預金・貸出金の状況 【単位:百万円】

| | 平成22年9月末 | 平成23年3月末 | 平成23年9月末 |
|-----|----------|----------|----------|
| 預金 | 139,223 | 139,310 | 137,606 |
| 貸出金 | 90,573 | 89,929 | 85,501 |

金融機関の健全性の目安

自己資本比率の推移



| | 平成23年3月末 | 平成23年9月末 |
|--------------------------|----------|----------|
| ① 自己資本比率:(算式⑤÷⑥) | 10.30% | 10.74% |
| ② Tier1(基本的項目)比率:(算式③÷⑥) | 8.35% | 8.85% |
| ③ Tier1(基本的項目) | 8,396 | 8,591 |
| ④ Tier2(補完的項目) | 1,960 | 1,837 |
| ⑤ 自己資本総額:(算式③+④) | 10,357 | 10,429 |
| ⑥ リスクアセット計 | 100,471 | 97,023 |

平成23年度上期業況のご報告

2011 REPORT より

昨年12月19日に新築移転した高井戸支店は旧店舗の場所から400メートル程荻窪駅寄りにオープン致しました。移転に際しましては関係者各位より多大なるご協力を賜り、御礼申し上げます。より一層皆様に愛される店舗を目指し、最大限努力して参ります。



当金庫は今後とも預貸金業務に特化した営業活動を強化して参ります。その為にも渉外系の訪問活動を強化し、お客さまの課題やニーズを見出し、その解決、充足にご期待以上の対応をしてお客さまに喜んで頂けるお取引を目指します。また、情報収集、情報提供活動によりお客さまのご要望にお応えできるよう努めて参ります。

今年も中小企業等事業者の支援に向けた取組を、より一層強化して参ります。適切な金融仲介機能とコンサルティング機能の発揮に注力致します。弁護士、税理士、社会保険労務士、司法書士等の専門化グループとの連携による経営改善支援態勢を構築致します。東京富士大学との産学連携や財団法人東京都中小企業振興公社との創業、新規事業支援連携による経営支援体制の確立に注力致します。

異業種経営者の交流や親睦の機会を提供する「ビジネスクラブさんきょう」の活性化を図り、二代目や若手経営者の育成、交流に向けた若手経営塾「Terra 小屋」では、昨年10月に第三期目の塾生を迎え、今年は第四期目の塾生を募っております。

また、お取引頂いている事業者への景況調査を年二回実施し、情報の提供による事業支援を行うべく活動に努めて参ります。

さらにお客様同士の交流を通じて、事業の発展や地域での交流の場を提供できるよう様々なイベントも行って参ります。この1月には当金庫で年金をお受け取りされているお客様の会であります「さんきょう友の会」で恒例の観劇会が開催されます。3月には同会にて草津温泉一泊旅行を実施する予定ですので、是非とも多くのご参加をお待ち申し上げます。

各店舗の三協会や分科会では、親睦旅行、観劇、ゴルフ会、カラオケ会、勉強会等を実施しております。会員の増加と会員皆様の自主運営による各会が活性するようより一層努力して参ります。

このように信用金庫のキャッチフレーズである「この街と生きていく」の通り、地域金融機関としての皆様のお役に立てるよう役割をしっかりと果たしてまいります。平成24年は辰（竜）年でございます。辰年は新たな時代の一步を踏み出し、一気に物事を推し進める年と聞いております。是非とも竜のごとく、強く昇りつめ、私ども金融機関と地域のお客さまが手を携えて飛躍できる年となりますよう役職員一同努力してまいりますので、倍旧のご指導、ご鞭撻を何卒宜しくお願い致します。

